

岡山大学歯学部でコーチングに関する授業を受け、 授業後に実施したアンケートに回答した 1 年次生へ

—「歯学部生に対してコーチングを扱った授業の 有効性の検討と教育方略の探究」へご協力をお願い—

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信

研究責任者：岡山大学 学術研究院医歯薬学域 医療教育センター 歯学教育部門 園井 教裕

1) 研究の背景および目的

近年、医療・介護現場で相手の目標達成を支援するコミュニケーションスキルであるコーチングは、患者教育やスタッフ教育及び多職種連携が求められる場での活用などでの有効性・必要性が報告されています。その結果、日本医学教育学会や日本摂食嚥下リハビリテーション学会などでは研修で扱うなど、学会としての取り組みがなされてきています。一方で、卒前の歯学教育で「コーチング」を扱う授業の実施は限られている現状があります。

そこで、2023・2024 年度に 1 年次生（学士入学生を含む）にコーチングを扱った授業を実施し、授業後に授業の省察を目的とした無記名アンケートを行いました。その結果を分析することで、コーチングを扱った授業の有効性を検討し、新たな教育方略の探究を行うこととします。

2) 研究対象者

2023・2024 年度に岡山大学歯学部でコーチングに関する授業を受け、アンケートに回答した 1 年次生（学士入学生を含む）77 名を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2028 年 3 月 31 日

情報の利用開始予定日：研究機関の長の許可日

4) 研究方法

2023、2024 年度において、岡山大学歯学部でコーチングに関する授業を受けた 1 年次生（学士編入生を含む）に対して授業後に実施したアンケート結果を分析し、コーチングを扱った授業の有効性について検討します。

5) 使用する情報

2023・2024 年度に岡山大学歯学部でコーチングに関する授業を受けた 1 年次生（学士入学生を含む）に対して授業後に実施したアンケート結果を分析する。尚、アンケートは研究目的ではなく、授業の省察を目的に毎回実施されているものである。

6) 情報の保存

この研究で収集した情報は、研究の中止又は研究終了後 5 年が経過した日までの間施錠可能な場所（医療教育センター）で保管します。この研究で収集した情報を電子的に保管する場合は、全てのファイルにパスワードを設定し、不正ソフトウェア対策ならびに外部からの不正アクセス防止について適切な対策を講じま

す。

7) 研究資金と利益相反

この研究は、特段の費用を要しないため特定の研究資金は用いておりません。また、この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者や分担者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は匿名で回答いただいたアンケートの結果を用いるため、あなたを直ちに特定できるデータはありません。研究結果は学会や論文で発表しますが、ご了解ください。ご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学 学術研究院医歯薬学域 医療教育センター 歯学教育部門

氏名：園井 教裕

電話：086-235-6596（平日：9時～17時、月曜日を除く）